

## WEBマガジン「人生×喜び マガジン」 VOL. 2

対談日：平成21年2月2日

## 山田 美恵子さんとお話しました



**潮田** 本日は、お越しいただいてありがとうございます。それでは、早速ですが、チャネリングを受けようと思われた動機を教えてくださいませんか。

**山田** ちょうど65歳の誕生日だった2月13日に受けさせていただきました。

60歳になった頃から、それまでの人生、結婚生活などを総括して、次の年齢を生きたいと思い、アドバイスをいただきに伺いました。

そこで、潮田さんに「過去には戻ることはできないし、それを反省しても悔やんでも仕方がない、その時々の方が一生懸命対応して生きてきたわけだから、過去をきれいな箱に入れて、ごくろうさん、良くがんばったね！と、自分をほめてあげてください」と言われました。

このアドバイスは、私も前向きな生き方として納得したことを覚えています。

**潮田** そうでしたね。自分の過去をそのようにすんなりと受け入れることができれば、次の一步を踏み出しやすくなりますね。

**山田** そして、終了時間が迫った頃、「過去生をご存知ですか？」とのご質問がありました。

私は、輪廻転生や過去生についての理解が余り無かったものですから、びっくりして「いいえ」とお答えしたと思います。

**潮田** セッションを受ける方によるのですが、時々、その方のそばに、もう一人の人物を感じる場合があります。それは、その方の過去生の姿なのですが、その日の山田さんの横には、ロングドレスを着た貴婦人が座っていました。

通常は、ご質問への返答に集中しているので、それ以外のことをお話しすることはないのですが、ちょうど山田さんがアンティーク陶磁器のコレクションをされていると聞いて、そのことに、その貴婦人は関わっていると感じましたので、お話しさせていただきました。

その貴婦人は、優雅にソファに腰掛けてティーカップでお茶を飲まれていましたし、また、ある場面では、お友達でしょうか、同じような貴婦人が4、5人、その方のお屋敷に集まって、ティーパーティが開かれているようでした。彼女は、その方々をもてなしている様子でした。

**山田** 潮田さんは、私のその過去生を「今回の人生でコレクションしてきた陶磁器と深い関係がある」とおっしゃいましたが、それが今後の生活にどのように影響するのは自分次第だ、とも言われました。

さらに、過去生において、やりたくてもできなかったことを今生で、やる、やらないは自由だが、65歳という、人生を十分に積み上げてきた年齢と、現在の自由な日本社会、価値観の多様化などを考えると、今が最も機が熟しているとおっしゃったのを覚えています。

**潮田** それが、私たちの自由意思というものです。過去生をどのように今回の人生に生かすかは、今を生きている私たちにまかされているのです。

**山田** セッションを受けました4ヶ月後に、展示会の発想がわき、そのことをお話しした文化出版局の方から、展示会にちなんで6冊目の写真集を出さないか、とのお話をいただきました。

それから1年半、撮影、文献の勉強、展示会の準備など、いつになく大変忙しい日々を過ごし、昨年11月末に展示会開催と同時に写真集を出版しました。

多くの方たちの支援と励ましがあつてのことですが、まずは潮田さんのお話でエネルギーをいただき、行動を起こすスイッチが入ったと思います。

**潮田** 私もその展示会「ドレスデン絵付け工房・職人の技と心」展に友人と伺いました。

平日の昼間に行きましたが、まず、たくさんのお客様がお見えになっていて、驚きました。そして、ところ狭しと、ドレスデンのさまざまな陶磁器が並んでいて、その数にもびっくりしました。

ドレスデンの陶磁器は、色が澄んでいて、明るくて、さらに、絵が花であっても、人物であっても、イキイキと躍動感があつて、見ていて、心が躍りました。それらを当時の人々が実際に使用していた、ということも興味深かったです。

**山田** 展示会の目的は、私自身が20数年間、パワーと心の支えをもらってきた、いにしへの絵付け師の想いを、より多くの方々に、直に見ていただき、伝えることでした。10日間の期間中、たくさんの方々にお越しいただき、感動していただき、開催した甲斐があつたと思います。

## WEBマガジン「人生×喜び マガジン」 VOL. 2

- 潮田** 山田さんのお話をうかがっていると、つくづく「行動することの大切さ」を感じます。展示会の準備、そして写真集の出版と、とてもお忙しかったと思いますが、そのことを通して、いろいろな刺激があったと察します。その刺激によって、これまで続けてこられたアンティーク陶磁器コレクションへの新鮮な感慨が生まれたのではないのでしょうか。
- さて、そのコレクションが無事終了されて、今は休息されておられるかもしれませんが、今後のご予定はいかがでしょうか。
- 山田** 今後は特に何をやるわけではありませんが、アンティーク陶磁器コレクションの集大成はちょっと脇に置いて、今後、自然にくる波をキャッチして前向きに生きていきたいと思っています。
- 潮田** きっと山田さんの今後は、ドレスデン陶磁器の故郷であるドイツの人々に、これだけ見事な陶磁器を生み出した、いにしへの名も無き絵付け師たちの心意気を伝える仕事が残っているのでは、と感じます。その時を自然にキャッチなさってください。本日は、ありがとうございました。



## 山田 美恵子(やまだみえこ)さんプロフィール

1942年生まれ  
 1964年、同志社女子大学英文学科卒業  
 夫の赴任にともない1972年からバンコクに、  
 1984年からニューヨークにそれぞれ5年間住む。  
 ニューヨークにてアンティークに出会いコレクションを始める。  
 1989年に帰国後、エムズコレクション（アンティーク同好会）を主宰する。  
 1998年、写真集「花1」「花2」「人物 果物 金彩」を、  
 1999年、写真集「ガラスとともに」「形と部分」の5冊を文化出版局から出版する。  
 2008年11月 東京、京橋の画廊にて「ドレスデン絵付け工房・職人の技と心」展を開催、同時に6冊目の写真集「アンティークドレスデン絵付け工房 技と心」を文化出版局から出版する。

【山田美恵子さんアンティーク陶磁器写真集】



## 潮田 圭子(うしおだけいこ)プロフィール

マーケティング・リサーチ会社、メガネ製造会社、携帯電話会社カスタマーサービス部門、資格取得予備校でのCS調査実施等を経て、2001年から、チャネリングを通して人々の様々な人生相談を受けている。

T&Kオフィスホームページ

ホームページアドレス <http://www.tk-office.co.jp/>